



Title	巻頭言：「保健学科設立20周年」を越えて
Author(s)	大野, ゆう子
Citation	大阪大学看護学雑誌. 2015, 21(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/56803
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

「保健学科設立 20 周年」を越えて
 Beyond the 20th anniversary of establishment of Division of Health Science in Osaka University

平成 26 年 7 月 19 日、阪急千里ホテルにて保健学科設置 20 周年記念式典・祝賀会が開催されました。当日は、大阪大学医学部附属病院の関係歴代看護部長にも御出席賜り、改めて、病院と連携しつつ歩んできた年月を実感致しました。名誉教授はもちろん、開学以来お世話になりました先生方にも多数御出席戴き、卒業生、修了生も全国から集まり、本当に暖かい雰囲気の中で式典・祝賀会が挙行されました。ここにご支援、ご助力、ご参加戴きました皆々様に御礼申し上げます。

学科設立、大学院設置、大学院大学化と、次々に来る波を乗り切って、今や全国的にも国際的にも真に保健学の学問の府として評価の高い保健学科、保健学専攻が出来上がって参りました。この伝統は、一朝一夕に出来るものではなく、長年に亘る、現役はもちろん先輩の先生方、事務職員の皆様、病院看護部、医学系研究科、そして病院の皆様方のご尽力によるものと存じます。本学の卒業生、修了生、現役学生さん、大学院生さん達もまた、本学の伝統を作り、伝えていくにおいて欠かせない役割を担ってこられました。多くの素晴らしいコラボレーションが今日の本学の活動基盤となっておりますことに感謝申し上げます。

大阪大学看護学雑誌もまた、看護学専攻と病院看護部の連携を記録してきた雑誌といえます。これまで投稿戴いた皆様、査読をはじめ出版に関係された皆様にも厚く御礼申し上げます。

一方、これから数年は大阪大学にとっても本専攻にとっても激動の年となりそうです。運営交付金の大幅削減、クウォーター制導入、保健師・助産師の大学院課程化、教員定員削減等、次々と変革が予定されております。新たな教育の模索が必要な時期がきております。

私共は、大学の先輩方、病院の皆様方によって築かれた伝統の気風を守りつつ、保健科学、看護科学の新たな発展のために努力、邁進して参りたく存じます。大阪大学看護学雑誌も、病院看護部との架け橋として一層の機能を果たしてくれるものと期待しております。

どうぞ皆様には、本学本専攻に対して、今後ともよろしくご助言、ご指導賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
 統合保健看護科学分野 第 21 期専攻主任
 大 野 ゆ う 子